

登録コード	J5510300	開講年度	2026				
授業科目	実証産業組織論				担当教員	廣瀬 要輔	
英文授業名	Empirical Industrial Organization				副担当		
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・1時限		
講義室	経法第3講義室		授業区分	講義	遠隔授業科目		
信大コンベンション	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				⇔	【授業の達成目標】	
	経法23初（2026改）・応用経済，経法23初・応用経済						
	専門知識を応用・実践する力として，計量的分析手法によるデータ解析を用いたリスクの定量的評価，実験経済学による社会制度の機能の検証，医療や福祉の現場における社会調査の手法を実践した地域の問題発掘，法の経済分析を通じた法制度の効果・影響の検証，などのスキルを習得し，経済の実情に即した政策提言，あるいは企業行動の決定を行うことができる能力を身につける。				⇔	専門知識を応用・実践する力として，ミクロ経済学および統計分析手法を応用することで市場構造や企業の意思決定を説明できるようになる。	
	【2020年度以降カリキュラム対象】専門領域での基礎知識として，経済学に基づく論理的思考法及び統計的分析手法を身につける。そして，経済理論の応用分野として，金融，公共政策，法や制度の経済分析をテーマとする3つの専門コースで，専門知識を具体的な問題解決に実践する力を身につける。				⇔	専門領域での基礎知識として，市場の構造および企業の意思決定をミクロ経済学の観点から説明できるようになると同時に，統計分析の観点から解釈できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム	ストラテジー・デザイン人材養成コース、ライフクリエイター養成コース						
(4)授業の概要	この授業では産業組織論の実証分析に用いられている計量手法を統計解析向けプログラミング言語Rの使用法とともに解説します。						
(5)授業計画	学生の理解度に応じて授業計画を変更するつもりなので、以下は目安です。 第1回 ガイダンス・RStudioの設定 第2回 R・RStudio入門 第3回 回帰分析の復習 (1) 第4回 回帰分析の復習 (2) 第5回 回帰分析の復習 (3) 第6回 生産関数の推定 (1) 第7回 生産関数の推定 (2) 第8回 生産関数の推定 (3) 第9回 需要関数の推定 (1) 第10回 需要関数の推定 (2) 第11回 需要関数の推定 (3) (レポート課題の出題) 第12回 競売と入札 (1) 第13回 競売と入札 (2) (レポート課題の提出) 第14回 競売と入札 (3) 第15回 競売と入札 (4) (最後の15分で授業アンケートを実施します) 第16回目にあたる週で期末試験を実施します。						
(6)成績評価の方法	レポート (30%) および期末試験 (70%) により評価します。						
(7)成績評価の基準	授業内で提示される練習問題がある程度解けるようであれば「水準にある」、練習問題を完璧に解けるようであれば「やや上にある」と評価します。さらに、応用問題が解ければ「かなり上にある」と評価し、Rを用いて適切な分析ができるようであれば「卓越している」と評価します。						
(8)事前事後学習の内容	この授業では実証産業組織論に関わる手法と合わせて、統計解析用ソフトRの使い方も同時に学んでいきます。Rを使いこなすにはある程度慣れが必要なので、各自で積極的に復習することが求められます。						
(9)履修上の注意	この授業ではRとよばれる統計解析用のプログラミング言語を使用します。このため、インターネットに接続できるノートパソコンを各自で (初回授業から) 持参してきてください。						
(10)質問,相談への対応	授業内での質問を原則とします。授業内での質問ができない場合はeALPS上またはメールで質問してください。メールアドレスとオフィスアワーに関しては初回授業でお知らせします。						
【教科書】	特にありません。						
【参考書】	授業内で適宜指示します。						